

画廊香月 / ギャラリーモリタ 創設 25 周年記念特別企画

vol.3 安元亮祐 新作展 — 明日、月の上で

The poster features a dark, textured background with abstract, monochromatic artwork. A yellow crescent moon is positioned vertically in the center. Text is arranged in vertical columns and horizontal lines, providing exhibition details.

画廊香月 / ギャラリーモリタ 創設 25 周年記念特別企画
VOL.3

安元亮祐 展 新作

明日、月の上で

歓迎の雨 420×325 (mm) 2015
天文学者の猫 370×200 (mm) 2015

*Ryosuke Yasumoto
Exhibition*

2015. 11/7 Sat — 11/29 Sun
13:00 - 20:00 (月曜休廊)

Gallery MORIYA

画廊香月 / ギャラリーモリタ創設25周年記念特別企画 VOL.3
 安 *Speaks* 元 *Gyammoto* 亮 *Toshiko* 祐 新作展

明日、月の上で



初冬の月 717×658(mm) 2015

——9年間の画廊での仕事を辞めて独立を決心し上京した私は、あらゆる作家の作品が並ぶギャラリーを数えきれないほど訪ね歩いた。東京駅近くで、どしゃ降りの中にあい、雨宿りのつもりで飛び込んだのがS画廊だった。濡れた髪や服をハンカチで押さえながら中に入ると、窓辺にあった小さな木彫りの人形が目にとまった。今思うと、周りの壁に掛けてあった作品は一枚も思い出せない。ただ20センチ程の小さな人形がジッとこちらを見つめていた。それが無国籍な風景やピエロを描く画家、安元亮祐との出逢いだ。触ってもいいですか?とたずねるとほとんど同時に、私は人形を手を取っていた。目も、口も、鼻も、耳もないその人形はサーカスのピエロの形をしていた。指の先から伝わる素朴な木のぬくもりと、しんとした表情。なんとも言えない愛おしさに、私は一目で魅せられてしまった。そして、この人形を作った作家に逢いたくてたまらなくなった。千葉県、松戸市にアトリエを持っている絵描きだという。私はそのまま夢中で雨の中を松戸へと向かった。困ったことに、アトリエの住所は教えてもらったが、連絡のすべがなかった。彼は幼い時に聴覚を失



月の化身 450×470(mm) 2015

い、音のない世界に住んでいたから。

駅に着いて、閉まりかけたギャラリーに飛び込んで、路を尋ねようとした私は、また2度目の偶然に言葉が出なかった。扉を開けると、100号程もある大きなサーカスの絵が掛けてあった。力強い黒とブルーグレイの陰影を帯びた色彩。幾千年もの時を封じ込めたような絵肌、折りに満ちた静寂と冴えわたった空気。さつきまで、私の手の中にいたピエロはキャンパスの中にいた。無国籍な風景の中で黒い太陽は沈むことを忘れてしまい、蒼い月明かりの下でジブシーたちは、トランペットやフルートを奏でている。ずうっと、遠い記憶がよみがえる。子供の頃、一人になるとこそと開けた古いオルゴールの調べが聞こえてくるようだった。作品の前で、私はまるで夕暮れ時に路を失ってしまった迷い犬のように、いつまでもそこに立ちずくんでいた。

1991月刊シティロードより 香月人美

ひと雨ごとに吹き抜ける風の匂いに、深まりゆく秋の訪れを感じる日々です。みなさま、いかがお過ごしですか。画廊香月 / ギャラリーモリタ創設25周年特別企画 第3弾は、安元亮祐展「明日、月の上で」を開催いたします。1991年ここ福岡市中央区にあるけやき通りに画廊香月は安元亮祐展と共にスタートしました。翌92年に開催した安元亮祐の展覧会「絵と音のクロスオーバー」板橋文夫 ピアノ&ヤヒトモヒロ パークッションのLIVEは、総合芸術を志す記念企画となり、画廊の方向性の位置付けに寄与することとなりました。

初日7日[土] 安元亮祐を迎えるオープニングレセプション。
 8日[日] 香月人美が読む、デュラス「ヒロシマ・モナムール」、そして、小沼ようすけのギター・ソロライブを予定しております。また、展覧会会期中には、地元のカフェと6店舗とのコラボで安元亮祐の小宇宙を体験ください。晩秋の画廊香月 / ギャラリーモリタの二つの画廊の創設25周年記念企画 安元亮祐新作展「明日、月の上で」をぜひご覧下さい。

〈安元亮祐 略歴〉	2007 「大地に根ざすものたち」(ギャラリーモリタ)	1989 セントラル美術館絵画大賞展・佳作賞
2015 ART FAIR ASIA 出展(ソラリア西鉄ホテル/画廊香月)	2000 「小さな神話展」(Bankamura Gallery)	1988 安田火災美術財団奨励賞受賞
2015 「アタネの横ひら」(画廊香月)	色彩銀賞展「四つ葉の幸運」刊行	1954 兵庫県生まれ
2015 「Spring and Spring II」(不忍画廊)	1992 第27回昭和会展・昭和会賞受賞「旅の記憶」	(パブリックコレクション)
2014 「Artist in Hotel」(パークホテル東京)	「絵と音のクロスオーバー」(画廊香月)	安田火災東郷克美美術館、
2011 池田潤寿夫1960年代vs安元亮祐新作展(不忍画廊)	1991 画廊香月オープニング企画(画廊香月)	笠岡日輪美術館、豊田市 地

2015 RED ARTIST (E)



★11月7日[土] 17:00～ オープニングレセプション

★11月8日[日] 25周年SP (会場/ギャラリーモリタ)

【第1部】香月人美、デュラスを読む「ヒロシマ・モナムールより」

生存の表象不可能性を追ったマルグリット・デュラスのテキスト。香月人美が読み解く、声とエクリチュール。
 開場 / 16:30 開演 / 17:00 [2,000yen / 1drink]

【第2部】小沼ようすけギターソロLIVE

独自のテクニクから日本のジャズ・シーンにおいて不動の人気を持つ小沼によるアコースティックなライブ。
 開場 / 18:30 開演 / 19:00 [3,500yen (前売り) / 当日4,000yen (当日)]

* 1部+2部 [5,000yen / 前売のみ]

■【カフェ空間+アート】プロジェクト

地元カフェ6店舗と安元亮祐の小宇宙!

ivsi
 福岡市東区箱崎3-9-38 明石ビル2F
 070-5414-4122

JOY TRIP CAFE
 福岡市中央区警固1-4-22 2F
 092-712-8335

おひさまとおつきさま
 福岡市中央区大手門1-4-11 1F
 092-717-1911

ベニールカフェ
 福岡市中央区警固2-18-13 オークビル1 2F
 092-714-7179

Saredo Coffee
 福岡市中央区六本松3-11-33 1F
 092-791-1313

ミックコメルシー
 福岡市中央区薬院1-14-18 1F
 092-713-5445



Gallery MORIYA
 ギャラリーモリタ

810-0042 福岡市中央区赤坂3-9-28 ロフティ赤坂2F

open 13:00-20:00 / 月曜休

tel. 092-716-1032 fax. 092-732-7327

e-mail info@g-morita.com

www.g-morita.com

www.facebook.com/GalleryMORIYA

■地下鉄赤坂線 赤坂駅より徒歩約7分

■西鉄バス 赤坂二丁目バス停より徒歩

■福岡市美術館より徒歩約7分

画廊香月 104-0061 東京都中央区銀座

1-9-8 美野ビル905

tel./fax. 03-5579-9617

e-mail hnakazuki@gmail.com www.kanaki.com

www.facebook.com/GalleryKazuki